



福島医発第521号(地)

平成25年 5月14日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

風しんの感染対策リーフレット（結婚編）について

今般、厚生労働省により、別紙のとおり風しんの感染症対策を目的として新婚夫婦向けのリーフレットが作成されました。

なお、本リーフレットは下記の厚生労働省のホームページにも掲載されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご丁知のうえ、風しんの感染対策にご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

〈厚生労働省 風しん対策のリーフレット掲載アドレス〉

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kananshou/rubella/

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ41)

平成25年5月9日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

風しんの感染対策リーフレット（結婚編）について

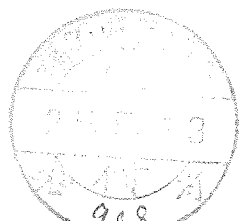
今般、厚生労働省により風しんの感染対策を目的として新婚夫婦向けのリーフレットが作成され、別添の事務連絡が同省より各都道府県等衛生主管部（局）宛なされましたので情報提供いたします。

なお、本リーフレットは下記の厚生労働省ホームページにも掲載されております。

つきましては、風しんの感染対策にご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<厚生労働省 風しん対策のリーフレット掲載アドレス>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kanseishou/rubella/



事 務 連 絡

平成 2 5 年 4 月 2 6 日

各

都道府県
政 令 市
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局
結核感染症課

風しんの感染対策リーフレット（結婚編）について

日頃より厚生労働行政にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、今般、風しんの感染対策を目的として新婚夫婦向けのリーフレットを作成しましたのでご連絡いたします。

婚姻届を提出に来た方等へ配付していただくようお願いいたします。

また、貴管内関係機関への配布等適宜ご活用下さい。

なお、厚生労働省ホームページにも掲載しておりますので、こちらも併せてご活用ください。

<風しん対策のリーフレット掲載アドレス>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kan_senshou/rubella/

<本件に関する問い合わせ先>

厚生労働省健康局結核感染症課
特定感染症係

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

代 表 03-5253-1111（内線：2386）

直 通 03-3595-2257

F A X 03-3581-6251

準備OK?

風しん
流行中!

妊娠を考えるなら、 麻しん風しん混合ワクチンを

ご結婚おめでとうございます!

新生活の準備でお忙しいことと思いますが、妊娠を考えるなら、

麻しん風しん混合ワクチン (MRワクチン) の接種を

ご検討ください。(相談はお住いの市区町村へ)

妊活の第一歩!

- 20-40代の女性の約15%は、風しんへの十分な免疫を持っていません。
- 妊娠中、特に妊娠20週頃までに風しんにかかると、赤ちゃんに耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなるなどの障がい（先天性風しん症候群）が現れる可能性があります。

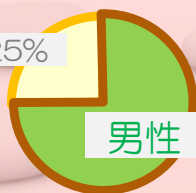


妊娠中は予防接種が受けられませんので、女性は妊娠前に予防接種を受けることをご検討ください。

男性も注目!

- 風しんと報告された方の7割以上が男性、そのうち8割以上が20-40代。
- 20代~40代の男性の約15%は、風しんへの免疫を持っていません。

女性：25%



男性：75%

【風しんの報告】

50代以上：5%

20-40代：82%

20代未満：13%

【男性の年代別風しん報告割合】

出典：国立感染症研究所（2012年）

お二人の赤ちゃんが先天性風しん症候群にならないように、
男性も予防接種を受けることをご検討ください。

予防接種について

- 風しんの予防接種を受ける場合は、風しんと同時に麻しんも予防できる、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の接種をお勧めしています。
- 予防接種を検討されたい方、受けたい方は、かかりつけ医やお近くの小児医療機関のほか、お住いの市区町村にお問い合わせください。

